



パスカルポンプ model X63

- エア駆動の超小型・高性能油圧ポンプです。
- パスカルポンプは、駆動エア圧力をエアピストンと油圧ピストンの面積比（増圧比）により、高油圧力に変換する、油圧クランプに最適なパワー源です。
- エア/油圧ピストンの高サイクルで確実なレシプロ運動により、吸引～吐出を繰返し、設定圧力に達するにつれて低サイクルになり、最大吐出圧力で駆動エアと油圧力がバランスして圧力保持をおこないます。
- バランス状態ではまったく駆動エアを消費せず、電動ポンプのような動力損失や油温上昇を生じることはありません。また駆動エアが断たれても吐出側チェックバルブにより油圧力を保持します。
- 負荷圧力が減圧すると高応答で作動し、油圧力を保持します。

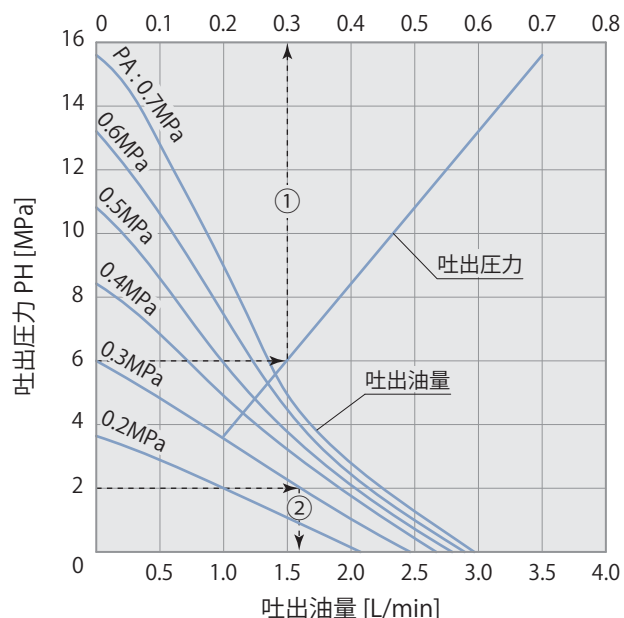
型 式	X6312		X6316		エ ア 圧 力 範 囲 : 0.2 ~ 0.7 MPa 最大エア消費量 : 0.4 Nm ³ /min 騒 音 : 78±1 db (A) 使 用 周 囲 温 度 : 0~70 °C (凍結なきこと)
ユニット型式	HCD4H-W HCSD-H4U HCT-4	HCD4H-S HCSD-H4A	HCD5H-W HCSD-H5U HCT-5	HCD5H-S HCSD-H5A	
増圧比	24		15		
質 量	2.6 kg				

能力線図 [作動油 ISO-VG32 (20°C)のデータ]

X6312

PH = 24 (PA-0.05)

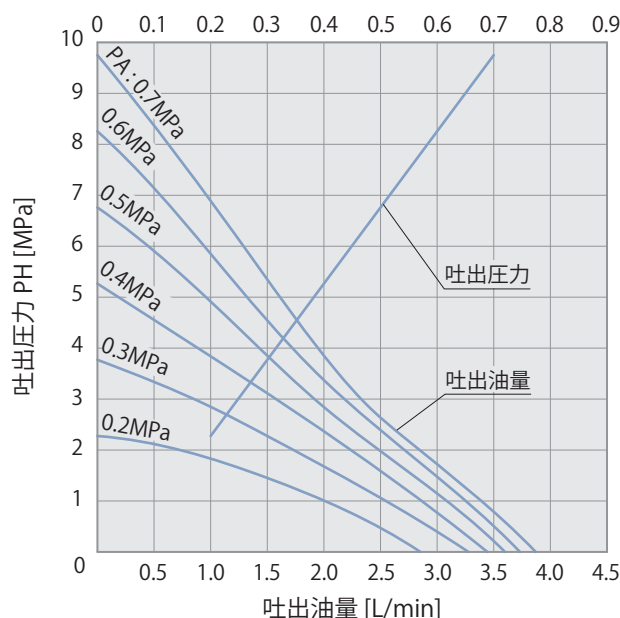
エア圧力 PA [MPa]



X6316

PH = 15 (PA-0.05)

エア圧力 PA [MPa]



1. 吐出圧力PH (シリンダの動作および昇圧が完了した際の吐出圧力) の求め方 [例: X6312]

吐出圧力PHが6MPa必要な場合、上グラフの破線①から、エア圧力PAは0.3MPaとなります。

2. 吐出油量の求め方 [例: X6312]

エア圧力PAが0.3MPaの時、シリンダ動作中は配管抵抗などの負荷によって吐出圧力が2MPaとなるとすると、吐出油量は上グラフの破線②から、1.6L/minとなります。(シリンダ動作中の吐出圧力は回路により変わります。)